

平成 29 年 11 月 1 日

仙台市社会福祉審議会老人福祉専門分科会会長 永井 幸夫 様
仙台市介護保険審議会会長 辻 一郎 様

仙台市社会福祉審議会老人福祉専門分科会委員 折腹 実己子
仙台市介護保険審議会委員 鈴木 峻

高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に係る資料の修正について（提案）

標記について、下記により修正することが望ましいと考え提案致しますので、ご検討の程お願い致します。

記

1. 修正対象（10 月 25 日会議資料 1-2）

各論「介護サービス基盤が充実し、それを支える人材が確保されるために」中の 6「介護サービス基盤の整備」(1)介護サービス基盤の整備中の【介護サービス基盤整備の目標】①特別養護老人ホームの整備量 850 人分

2. 修正提案

(1)提案の理由

1)資料 1-1 で現状●特別養護老人ホーム入居申込状況（平成 29 年 4 月 1 日現在）2,319 人（前年度より 301 人減少）とあります。

また、参考資料 1 の 1 ページ、2 ページで、特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活介護とも、平成 32 年度での入居対象者数の伸び率が同率の 1.12 になっているにもかかわらず、資料 1-2 の 2 ページで他の施設の整備量が減になっている中、特養だけが第 6 期より 150 人分多い整備量になっているのには疑問が残り、他の施設にも万遍なく整備すべきではないかと考えます。

2)参考資料 1 の 1 ページ 1.介護サービス基盤整備の目標の算出の「早期入居希望者」は 1,393 人で入居申込者数に対して約 62% になっております。この人数は、4~5 ページのアンケート調査の回答割合から推計したものとされています。

また、老人保健施設、認知症対応型共同生活介護のアンケート調査結果が資料として紹介がないのは不足ではないかと考えます。

3)同じく参考資料 1 の 5 ページ「特別養護老人ホーム入居を希望する方、他の施設でも良い方」では、特別養護老人ホームのみを希望する方は 37%、他の施設でも良いと回答した方は 39%であり、現状 37%の方のみ特養入居を希望しています。このことから、特養だけに特化した整備量にして良いかどうか疑問が残ります。

4)同じく「特別養護老人ホーム入居に対する希望」ですぐに入居したい方は20%、同じく順番が回ってきたら入居したい方も20%であり、合計して40%になります。

5) 2)と4)の値には数字に22%の差があり、また3)についても特養を大きく希望しているとは捉えがたく、2)の「早期入居希望者」の算出の仕方には疑問が残ります。

参考資料1の1ページの早期入居希望者数を62%ではなく、4)の40%にした場合の想定不足者数を別紙で現わしてみました。(別紙1) ご参照願います。

このことから、想定不足数は282人となり、第7期前倒し分も含めて特養の整備量の目標は約300人分と想定されます。

(2)提案内容

上記(1)提案の理由から【介護サービス基盤整備の目標】①特別養護老人ホームの整備量850人分について整備量を300人分に減員いただくようご検討をお願い致します。

3. 追加事項 (10月25日会議資料1-2)

6 介護サービス基盤の整備(1)介護サービス基盤の整備の2行目の「中長期的な動向を見据え、」のあとに、下記のような追加の文言を入れていただくようお願い致します。

「また施設整備と人材確保は車の両輪であることから、人材不足の状況を加味しながら」

(1)提案の理由

施設整備計画と人材確保計画は車の両輪であります。参考資料1の3ページに現わされている2.第6期及び第7期計画期間中における介護サービス基盤整備に対応する介護職員・看護職員数の算出で、最低基準で合計1,044人の介護・看護職員数が必要になります。

介護保険事業計画は、介護サービス基盤整備の目標整備量だけでなく、1,044人の人材確保の具体的な計画も併せて計画するべきであると考えます。人材確保が難しければ、施設整備計画は縮小してもやむを得ないものであると考えます。

特別養護老人ホーム入居希望者向けアンケート調査の概要

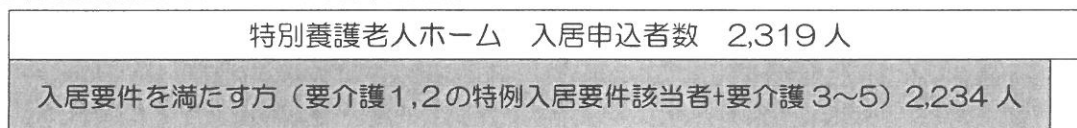
1. 特別養護老人ホーム入居に対する希望

(すぐにでも入居したい方+順番が回ってきたら入居したい方=40%)

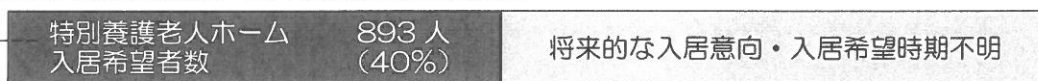
【特別養護老人ホーム】

■アンケート調査結果から推計される特別養護老人ホーム入居申込の状況

○特別養護老人ホームの入居申込者数

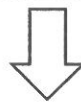


○特別養護老人ホーム早期入居希望者数※



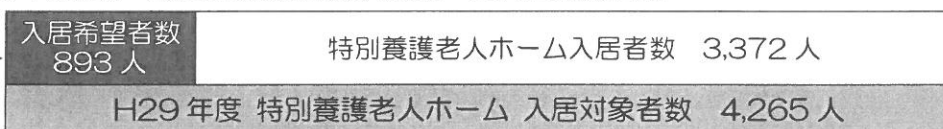
第 7 期計画上の特別養護老人ホーム入居想定者

※ アンケート調査の回答割合から推計

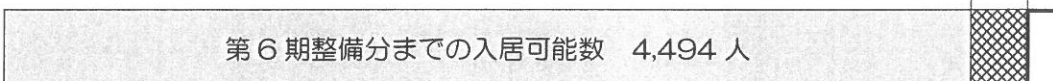
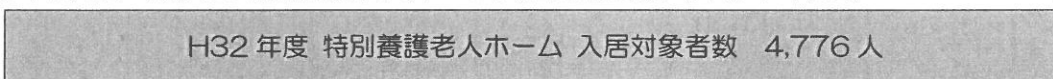


■特別養護老人ホーム整備量の目標

○平成 29 年度での特別養護老人ホーム入居対象者数



○平成 32 年度での特別養護老人ホーム入居対象者数 (伸び率 1.12)



想定不足数 102 人
第 7 期前倒し分 180 人

平成 32 年度想定不足分 102 人+第 7 期前倒し分 180 人 ≒ 280 人 を整備量の目標とする。